

ガスヒーポン ハウジングマルチ

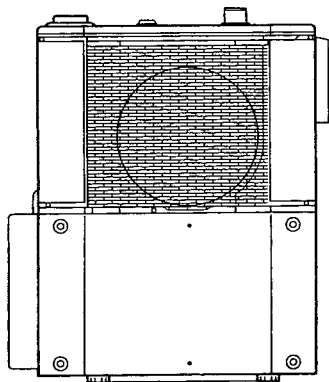
Living Mate

取扱説明書

3馬力マルチ

このたびは、大阪ガスのガスヒーポンハウジングマルチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用いただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- 別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- 本書を紛失された場合や、ご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- この機器は、国内専用ですので海外では使用しないでください。



室 外 機

145-1001型

(型式名 SGH-CHD80C1N/80C1P)

室 内 機

- | | |
|-----------|--|
| (壁掛形) | 145-5010/5011/5012/5013/
5014/5015/5016/5017型 |
| (天井カセット形) | 145-5110/5111/5112/5113型 |
| (壁埋込形) | 145-5210/5211/5212型 |
| (隠ぺい形) | 145-5310/5311/5312型 |

マルチタイプエアコンの特徴

このエアコンは1台の室外機に、複数台の室内機を組み合わせ運転できるマルチタイプエアコンです。通常のエアコンと次の点が異なりますのでご注意ください。

※室内機は、2台以上接続してください。

●運転台数により多少能力が変わり、吹き出し温度が変化する場合があります。

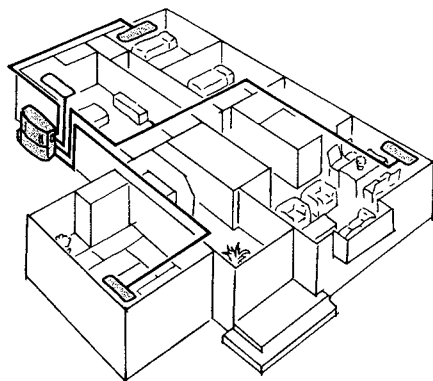
●室外機は接続された、すべての室内機が停止した場合、全室サーモOFFの場合に停止します。

●室外機は圧縮機保護のため、いったん圧縮機が停止すると約3分間は再起動を防止する仕組みになっています。このとき運転を開始しても、室内機は最長約3分間送風運転の待機状態になります。

●冷房・ドライモードで運転を開始するとき、同一室外機に接続された他の室内機がすでに暖房モードで運転している場合、ご希望の運転モードが得られません。
また、暖房モードで運転を開始するときにも、同一室外機に接続された他の室内機がすでに冷房・ドライモードで運転している場合、ご希望の運転モードが得られません。

●同一室外機に接続された他の室内機が運転している場合、停止中の室内機から冷媒が流れる音がある場合がありますが、異常ではありません。また、運転中やエアコンを止めたとき、室内機から冷媒が流れる音がある場合がありますが異常ではありません。

●同時運転可能容量を越えた場合、リモコンにて、運転を行っても、冷暖房されない場合があります。この場合、室内機の運転ランプが点灯（赤・緑と2秒ごとに変色）でお知らせします。お急ぎの場合は、他室の室内機を停止してください。



もくじ

マルチタイプエアコンの特徴	1
取扱説明書に記載する記号について	3
1. 安全にお使いいただくために	4
1) ご注意ください	5
2. 上手なご使用のしかた	12
1) リモコン各部のなまえ	13
2) リモコンの取り扱いかた	15
・運転を始める前に	15
3) 自動運転	17
4) 暖房・ドライ・冷房運転	18
5) 風量・風向調節	19
6) タイマー運転	21
7) ハイパワー運転・1Hタイマー運転・快眠運転	22
3. 取り扱い上のご注意	24
1) 日常のお手入れ	25
2) 上手な使いかた	32
3) 空気清浄フィルターの交換・取付	33
4) 応急運転	39
5) 故障の原因になる取り扱い	40
6) 故障かな?と思ったときは	41
7) 分岐ユニット使用時の運転のしかた	42
8) こんなときはご連絡ください	44
9) アフターサービスと保証	45
10) メンテナンス	46
11) 工事/移設	48
4. 製品編	50
1) 室内機	51
2) 室外機	56
5. 仕様	58
1) 室内機仕様表	59
2) 室外機仕様表	60

取扱説明書に記載する記号について

お客様がエアコンを安全にお使いいただくために取扱説明書の説明文には、以下の記号が使われています。よく読んで内容をお確かめの上、エアコンをお使いください。



危険

取り扱いを誤ると、死亡や重傷に至る危険が切迫して生じる場合が想定されるため、未然に防ぐための必要な事項を示してあります。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡や重傷に至ることが予想される事故を未然に防ぐための必要な事項を示してあります。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害や物的損害に至るかもしれない事故を未然に防ぐための必要な事項を示してあります。



⊘ はしてはいけないことを示しています。中に具体的な禁止事項(左図は「分解禁止」)を図示する場合もあります。



● は必ずしていただきたいことを示しています。中に具体的な指示内容(左図は「必ずアース線を接続せよ」)を図示しています。具体的に内容を図示しない場合は ① を用いています。

注 意

部品や商品に損傷を与えないための必要な事項を示してあります。

要 点

正しい操作のポイントを示してあります。

1. 安全にお使いいただくために

1) ご注意ください・・・・・・・・・・・・・・5

1) ご注意ください

お使いになる前に

⚠ 危険



室外機は屋内に設置しないでください。

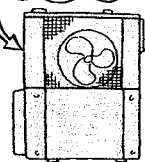
室外機は屋外用ですので絶対に屋内に設置しないでください。
一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠ 警告

ご使用の燃料ガスは指定のガスを使用してください。

- 指定のガス種は室外機のラベルに記載されています。ガス種が異なると燃料不良による一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス種記載ラベル



小部屋へ据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界温度を超えない対策が必要です。限界温度を超えない対策については販売店とご相談のうえ、据え付けてください。

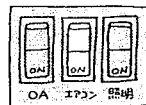
- 万一、冷媒が漏れて限界温度を超えると、酸欠事故の原因になります。

地震・火災など緊急の場合は運転を停止し、ガス栓を閉じてください。

- あわてずに運転を停止し、ガス栓を閉じてください。そのままにしておくと火災やガス中毒の原因になります。

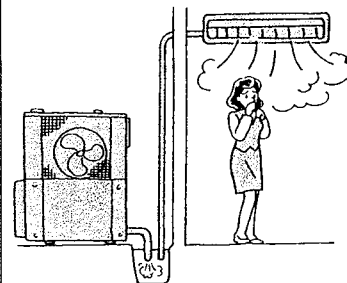
電源はエアコン専用の電気回路を用いてください。

- 万一電源が切れたとき、他の機器が停止します。特に電気医療器具、警報装置、換気扇などをご使用の場合注意してください。



室外機の排気ドレンホースと室内機のドレンホースを同じ所へ接続しないでください。

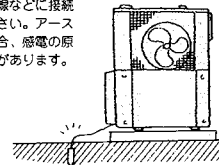
- 接続されて排気ガスが建物内へ逆流すると、中毒などの原因になります。



⚠ 注意

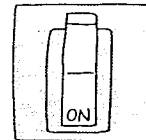
室外機にアースを取り付けてください。

- アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しないでください。アースが不完全な場合、感電の原因になることがあります。



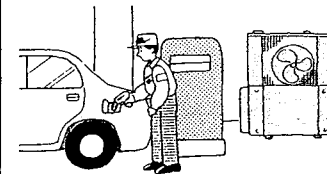
設置場所によって漏電ブレーカが必要です。ご確認ください。

- 漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



可燃性ガスの漏れる恐れのある場所や揮発性引火物を取り扱う場所に設置しないでください。

- 万一ガスが漏れて室外機の周辺にたまり、発火の原因になることがあります。



室内機の吹出口の前に格子を取り付けないでください。

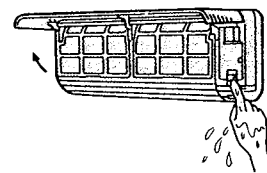
- 温度調節が正しく行われず火災の原因になることがあります。



室内機は壁や棚などからじゅうぶんに離して設置してください。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

- 感電の原因になることがあります。

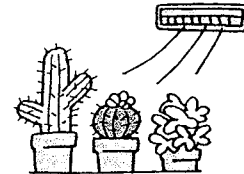


ドレン配管は、確実に排水するように施工する必要があります。ご確認ください。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

食品、精密機器、美術品などの保存や動植物の飼育、培養など特別な用途に使用しないでください。

- それらの品質低下の原因になることがあります。



室内機の下にテレビ等の電化製品を置かないでください。

- 水滴が滴下することがあり機器の故障、感電の原因になることがあります。

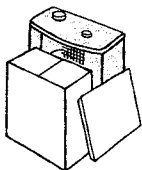
1) ご注意ください

運転するときは

⚠ 警告

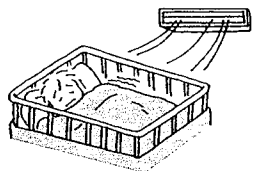
室外機のエンジンの吸気口、排気ガス出口やドレン口をふさがないでください。

- ふさがれていると不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。



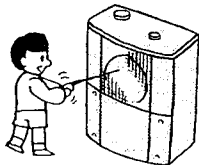
長時間冷風や温風を直接身体に当たったり、冷やしすぎたり暖めすぎたりしないでください。

- 体調悪化、健康障害の原因になります。



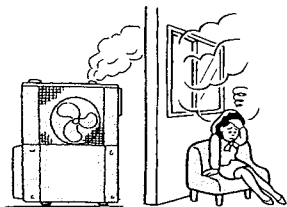
室外機の吹出口や吸込口に指や棒などの異物を入れないでください。

- ファンなどの回転物に触れると、ファンや棒などが飛散し、ケガや故障の原因になります。



室外機の排気ガスが室内に入らないようにしてください。

- 排気ガスが窓や空気吸込口などから入ると中毒などの原因になります。



⚠ 注意

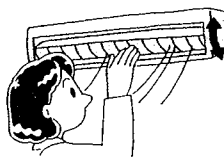
熱交換器のフィンにごみやホコリが付着しますと、能力が低下し、故障の原因になりますのでお買い求めの販売店にご相談のうえ、熱交換器のごみの除去や洗浄などを行ってください。



⚠ 注意

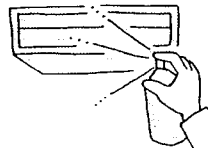
運転中に室内機の吹出口の中に指や棒などの異物を入れないでください。

- スイングルーバーに指をはさむなどケガをしたり、故障の原因になることがあります。



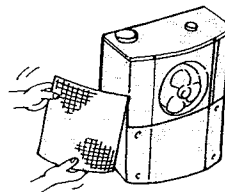
可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。

- 発火の原因になることがあります。



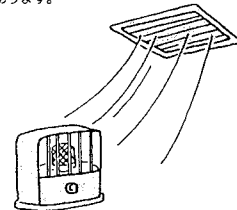
室外機のパネルやファンガードをはずさないでください。

- 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると巻き込まれたり、やけどや感電によりケガの原因になります。



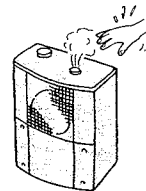
エアコンの風が直接あたるところに燃焼器具を置かないでください。

- 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



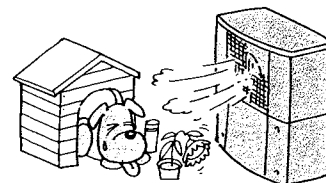
室外機の排気ガス出口に触れないでください。

- 排気ガス出口は運転停止後でも熱くなっています。触れるとやけどをすることがあります。



ファンの吹出し風や排気ガスを直接動植物に当てないでください。

- 動植物に影響を及ぼす原因になることがあります。

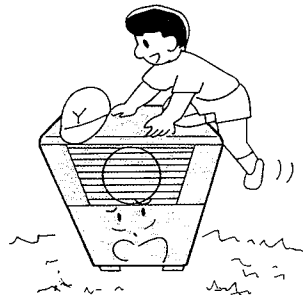


1) ご注意ください

⚠ 注意

機器の上に乗ったり、腰かけたりしないでください。

- 機器の故障や、やけどのおそれがあります。



ガス配管に乗らないでください。

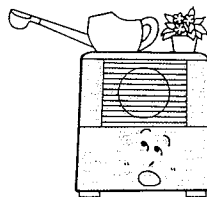
- ガス配管が破損して、火災等の原因になることがあります。

エアコンは直接水洗いしないでください。

- 故障 感電 火災の原因になることがあります。

機器の上に花びん、植木鉢などを載せないでください。

- 機器の上に水の入った容器を載せたりすると、機器内部に浸水して電気絶縁が劣化し、故障・感電の原因になることがあります。



積雪注意。排気口をふさがないようにしてください。

- 排気口への積雪や、屋根から落ちた雪によって排気口がふさがれ、機器が不完全燃焼をすることがあります。

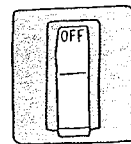
- 積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口をふさぐおそれのある場合は、お買い求めの販売店などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

このようなときはお買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 警告

室外機の音や振動がいつもと異なり、異常に大きな時や異常な臭い(焦げ臭いなど)がある時は運転を停止して電源ブレーカを切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 異常のまま運転を続けると故障や、感電、火災等の原因になります。



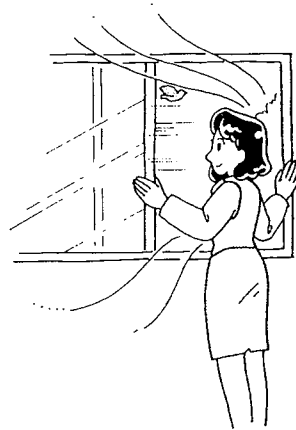
室外機の燃料ガスが漏れているときはエアコンを止めガスの元栓を閉じて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- そのままにしておくと火災等の原因になります。



冷媒ガスが吹き出している、漏れている場合はエアコンを止めて部屋の換気を充分に行い、お買い求めの販売店にご連絡ください。

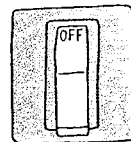
- そのままにしておくと酸欠事故の原因になります。



⚠ 注意

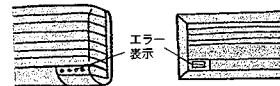
電源ブレーカがたびたび動作するときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

- そのまま使用し続けると火災や故障の原因になることがあります。



室内機表示ランプにエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は運転を中止し、ガスの元栓を閉じてお買い求めの販売店にご連絡ください。

- そのままにしておくと火災や故障の原因になることがあります。



1) ご注意ください

お願い

●家庭用製品として扱ってください。

- この製品は家庭用ですので、業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。

●停電したら

ガス栓を閉じてください。

- 使用中万一起停電した場合は、機器の安全装置がはたさりますが、急のためガス栓を閉じてください。



●雷が鳴り出したら

雷が鳴り出したら、運転を停止してください。

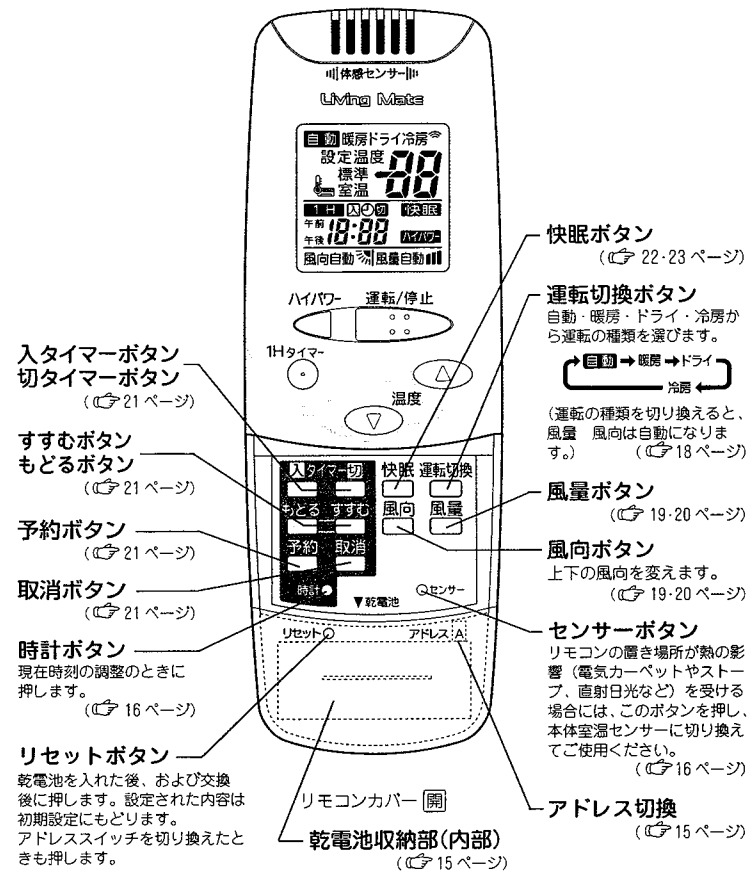
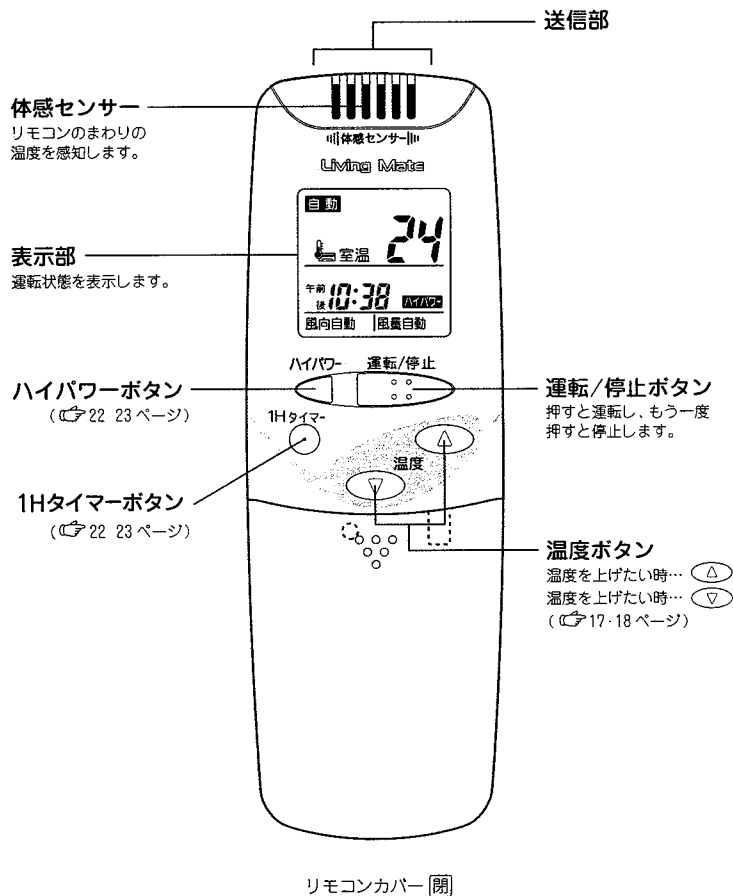
- 雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、手元電源スイッチを切ってください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

2. 上手なご使用のしかた

- 1) リモコン各部のなまえ・・・・・・・・・・13
- 2) リモコンの取り扱いかた・・・・・・・・・・15
 - 運転を始める前に・・・・・・・・・・15
- 3) 自動運転・・・・・・・・・・17
- 4) 暖房・ドライ・冷房運転・・・・・・・・・・18
- 5) 風量・風向調節・・・・・・・・・・19
- 6) タイマー運転・・・・・・・・・・21
- 7) ハイパワー運転・1Hタイマー運転・快眠運転・・・・・・・・22

1) リモコン各部のなまえ

リモコン



2) リモコンの取扱いかた

運転を始める前に

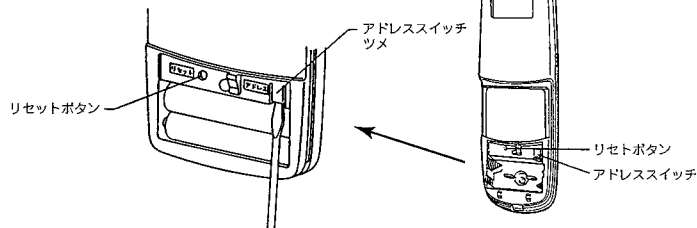
アドレススイッチについて

- アドレス切替は2台の室内機を隣接設置するとき、リモコンの誤信を防止するために切り換えます。通常は“A”にセットされています。アドレス切換を行う場合は、アドレススイッチのツメを精密ドライバー（←）等で折り、アドレス“B”に切り換えてください。（図参照）

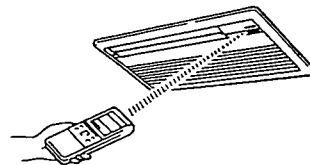
注意事項

リモコンのアドレススイッチを“B”に切り換えた場合

- ①リモコンのリセットボタンを先の細いもので押してください。
- ②室内機本体のリモコンアドレススイッチを“B”に切り換えてください。（←51～55ページ）



手に持って操作するとき



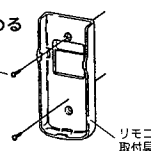
- 送信部を受信部に向けて行ってください。
- カーテン ふすまなど、受信部との間に信号をさえぎるものがあると動作しません。
- 操作距離は直線で約10mです。
- 電池容量が低下しますとリモコンを操作しても動作しない場合があります。
- リモコン受光部付近にインバータ方式の照明器具等がある場合、感度が大きく低下する場合があります。

壁などに取り付けるとき

取り付ける位置で運転/停止ボタンを押し、本体から受信音（ピーピー等）がすることを確認ください。

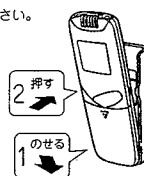
1 ホルダーをねじで止める

トラスタピン
4×16



2 リモコンの取り付け

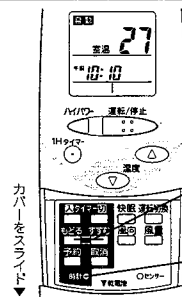
- ①ななめ上から差し込み、
- ②ホルダー側へ押す。



現在時刻の合わせかた

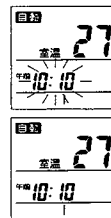
（例）午前10時10分に合わせる場合

[リセット] を押した後は、午後○ ○○が点滅しています。
（ご使用中に現在時刻を修正する場合は、[時計] を押します。
時刻表示が点滅します。）



- 1 [もどる・すずむ] を押し、「午前10・10」に合わせる
時刻は1分単位で設定できます。
押し続けると10分単位で早送りになります。

- 2 [時計] を押す
現在時刻セット完了です。



センサーボタンについて

- リモコンの置き場所が熱の影響（電気カーペットやストーブ、直射日光など）を受ける場合には[センサー] を押し、本体センサーに切り換えてご使用ください。本体センサーに切り換えると、リモコン表示部に次のようなマークが表示されます。

ご注意（リモコンの取付位置について）

- リモコンは、冷温風や日光が直接当たるところや、熱源（電気カーペットやストーブなど）の近くには置かないでください。また、電子瞬間点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けられないことがあります。このような場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- リモコンは、カーテン ふすまなど、室内機を受信部との間に信号をさえぎるものがない位置に置いてください。位置が正しくないと、タイマー 室温制御などが正しく動きません。

リモコンの乾電池の入れかた

1 カバーをはずす

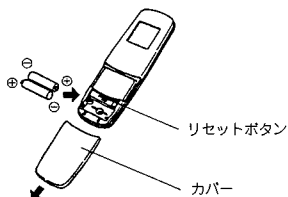
2 単4形アルカリ乾電池を2本入れる

＋の向きを正しく！

3 [リセット] を先の細いもので必ず押してからカバーを取り付ける

乾電池の交換時必ず [リセット] を押してください。

4 現在時刻を合わせる

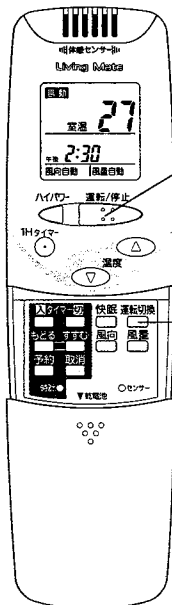


乾電池について

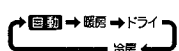
- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池の交換は、1年がめやすです。乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示画がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、1年に満たないうちに消耗することがあります。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。可燃ゴミと一緒に出したり、燃やしたりしないでください。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。

3) 自動運転

エアコンがその部屋の状況に合った運転の種類（暖房・ドライ・冷房）を自動的に選びます。温度・風量・風向きを自動調節して、経済的に運転します。



- 1 **運転切替** を押し、**自動** を選ぶ
運転切替を1回押すごとに下記の順で運転の種類が変わります。



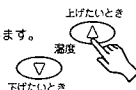
- 2 **運転/停止** を押す
室内機から“ピーピー”と音がします。

室内機の運転ランプが点灯
暖房運転……赤色
ドライ運転……橙色
冷房運転……緑色

- 運転の種類がご希望に合わないときは、暖房・ドライ・冷房運転にしてください。

設定温度を変えたいとき

いずれかの **温度** を押す
室内機から“ピー”と音がします。



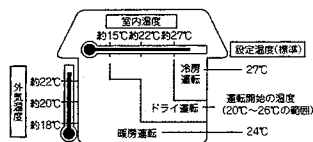
- 温度の変更は1回押して標準温度にしてから、つづけて押すごとに1℃ずつ変化し、標準温度から±4℃の範囲で変更できます。
(なお、変更してから3秒後に室温表示にもどりませんが、変更温度は運転停止後も記憶されています。)

風量・風向を変えたいとき **風量** **風向** を押す。
(19ページ)

運転を停止したいとき
もう一度 **運転/停止** を押す

自動運転にすると…

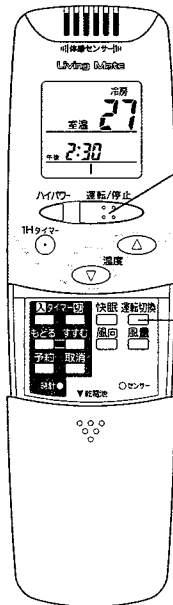
- 室内機の運転ランプの色を赤→橙→緑と2秒ごとに切り替え表示する場合があります。
- 室内外機の温度センサーが、暖房・ドライ・冷房を自動的に選択します。
(運転停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ運転になります。)



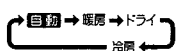
- 他室がすでに運転している場合は、他室の室内機と同じ運転の種類になります。

4) 暖房・ドライ・冷房運転

暖房・ドライ・冷房の運転内容に設定することができます。一度セットすればエアコンが運転内容を記憶し、あとは **運転/停止** を押すだけでのカンタン操作です。



- 1 **運転切替** を押し、暖房・ドライ・冷房のいずれかを選ぶ
運転切替を1回押すごとに下記の順で運転の種類が変わります。

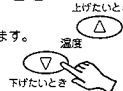


- 2 **運転/停止** を押す
室内機から“ピーピー”と音がします。

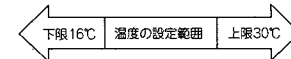
室内機の運転ランプが点灯
暖房運転……赤色
ドライ運転……橙色
冷房運転……緑色

設定温度を変えたいとき

いずれかの **温度** を押す
室内機から“ピー”と音がします。



- 温度の変更は1回押して設定温度表示にしてから、つづけて押すごとに1℃ずつ変化します。



- 変更してから3秒後に室温表示になります。

風量・風向を変えたいとき **風量** **風向** を押す。
(19ページ)

運転を停止したいとき
もう一度 **運転/停止** を押す

暖房運転にすると…

- 暖房運転開始時には冷風防止機能がはたらき、微風運転や風が出ない場合があります。

■ドライ運転について

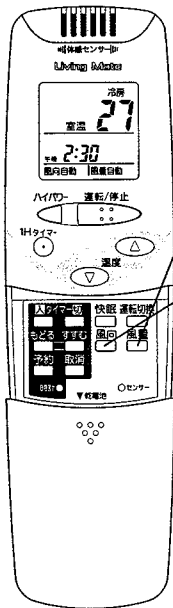
- 室温が設定温度に近づくとき室内ファンが不規則な運転になります。また、室外機は能力をおさえた運転を継続し、さらに室温が低下すると停止する場合があります。
- 外気温度が低くなったときや狭い部屋などで使用すると、設定温度よりも室温が下がる場合があります。

ご注意

- 冷房・ドライ時にエアフィルターや空気清浄フィルターの目づまりで塵が飛んだり、凍結防止機能がはたらく場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルターを交換してください。

5) 風量・風向調節

冷氣・暖気のかたよりを調節できます。



風量を変えたいとき

運転中に「風量」を押す

1回押すごとにつぎの順で表示されます。



●自動は風量が自動的に切り換わります。

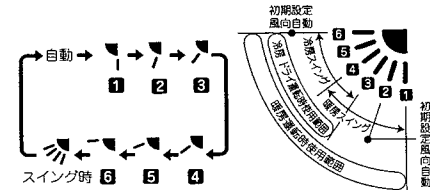
上下の風向きを変えたいとき

運転中に「風向」を押す。

室内機から“ピー”と音がします。

リモコン表示

本体のフラップ位置



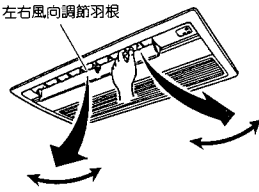
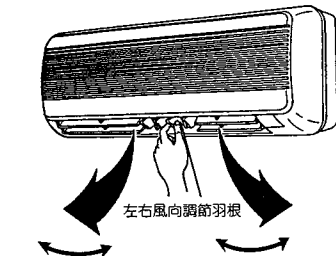
- リモコン表示はめやすですので、実際の角度とは異なります。
- 本体のフラップ位置 6 は水平ではなく、若干下向きになります。

左右の風向きを変えたいとき

壁掛形

天井カセット形

左右風向調節羽根



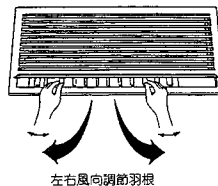
吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。

吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。

左右の風向きを変えたいとき

壁埋込形

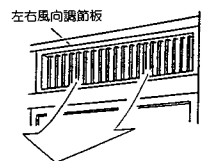
吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。左右風向調節羽根は、2分割または3分割になっております。分割ごとの羽根をそれぞれ左右に調節してください。(図は2分割モデルを表わします。)



隠ぺい形

吹出グリルの風向調節板を手で動かして左右の風向を調節します。

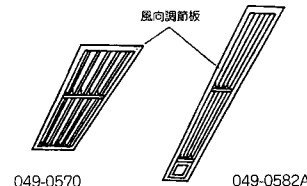
(049-0593、049-0594の場合)



下吹き風の風向調節(隠ぺい形)

下吹き風向角度の調節

吹出グリルの風向調節板を手で動かして下吹き角度を調整します。(049-0570、049-0582Aの場合)



風量・風向調節について

- 暖房運転開始時、吹出温度が高くなるまでフラップ位置は 6 になります。この間はリモコンで操作しても、フラップは動きません。吹出温度が高くなるとリモコンの設定位置になります。
- フラップの位置は、暖房・冷房・ドライ運転時使用範囲でご使用ください。

ご注意

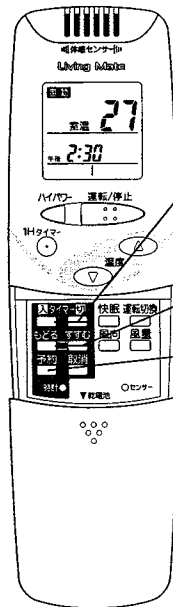
- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいているとき、またはドライ運転時、室内ファンが不規則な運転をしている場合は、風量の変更はできません。
- フラップは、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、フラップがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンで一旦停止させ、フラップが閉じてから再運転をしてください。
- 冷房・ドライ運転時、つゆときなど湿度の高いときに左右風向調節羽根を大きく左右に曲げたり、フラップ位置を使用範囲を越えて下向きにすると、吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。フラップ位置は正しくし、左右風向調節羽根をまっすぐの位置にしてください。



フラップのスイング時は、左右風向調節羽根を調節しないでください。手をはさまれるおそれがあります。

6) タイマー運転

タイマー運転をするときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認してください。



入タイマー予約

設定した時刻にご希望の温度に近づけるように、自動的に運転を始めます。

- 1 **入タイマー** を押す
“” が点滅します。



- 2 **すすむ** または **もどる** を押し、予約時刻を設定
時刻は10分単位で設定できます。
押し続けると早送りになります。

- 3 **予約** を押す
室内機から“ピー”と音がします。
「」または「」の点滅が点灯に変わり、現在時刻表示にもどります。
室内機のタイマーランプが点灯します。

切タイマー予約

設定した時刻に自動的に運転を停止します。

- 1 **切タイマー** を押す
“” が点滅します。



タイマー運転を取消したいとき

- **取消** ボタンを押します。
- 取消したいほうの **入タイマー** または **切タイマー** を押し「」または「」の点滅を確認し、**取消** を押します。

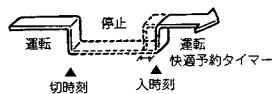
入切時刻を確認したいとき

- **入タイマー** または **切タイマー** ボタンを押します。
もう一度押すと、現在時刻にもどります。

組み合わせタイマー運転

- 入タイマー・切タイマーを組み合わせた運転ができます。
- 組み合わせタイマー運転の場合は、設定された内容を毎日繰り返します。

(例1) 運転→停止→運転



おやすみ中に停止させ、おめざめ前に再運転したいとき便利です。

(例2) 停止→運転→停止



おめざめ前に運転させ、おでかけのときに運転を停止させたいとき便利です。

快適予約タイマー

- 入タイマー時間にご希望の温度に近づけるよう、セット時間の前(最大60分前)から運転し、風量は「弱」で運転します。
- お部屋の大きさや状態によって、設定時間までにおこのみの温度にならないことがあります。

7) ハイパワー運転・1Hタイマー運転・快眠運転

ハイパワー運転

夏のお買い物帰りやお風呂あがりに、また冬の帰宅時などにお使いください。

- ハイパワー** を押す
室内機から“ピー”と音がします。



取り消したいとき

- ハイパワー** を押す

1Hタイマー運転

1時間だけ運転しますので、切り忘れの心配がありません。

- 1Hタイマー** を押す
室内機から“ピーピー”と音がします。



取り消したいとき

- 運転/停止** を押す
いったん運転を停止して、再度 **運転/停止** を押すと通常運転になります。

快眠運転

おやすみ中も快適な環境にしてくれる機能です。
静かな運転音で室温をコントロールします。

- 自動・暖房・ドライ・冷房運転中に **快眠** を押す。
室内機から“ピー”と音がします。



取り消したいとき

- 快眠** をもう一度押す

ハイパワー運転について

暖房運転のとき

- ハイパワーボタンを押してから、15分間は最大能力で室内を一気に暖めます。

冷房・ドライ運転のとき

- ハイパワーボタンを押してから、15分間は最大能力で室内を一気に冷やします。
- 風量は強風よりも1段階強くなります。(リモコンに表示は出ません。)

1Hタイマー運転について

- 1Hタイマー** で運転している途中、もう一度 **1Hタイマー** を押すと、押した時点から1時間後に運転を停止します。
- 切タイマー中に **1Hタイマー** を押すと、1時間後に運転を停止し、切タイマーは取り消されます。
- 入タイマー中に **1Hタイマー** を押した場合でも設定時間後に入タイマーがはたらきます。

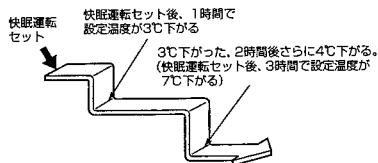
ご注意

- 1Hタイマー運転と切タイマーは、後押し優先になります。

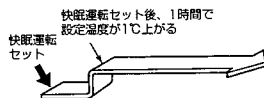
快眠運転について

- 室内機の風量を自動的に下げます。
- 設定温度はつぎのように変わります。暖房時はセット1時間後に3℃下がり、それから2時間後さらに4℃下がります。(つまり、快眠運転をセットしてから3時間後には設定温度は7℃下がります。)
- 冷房・ドライ時はセット1時間後に1℃上がり、その状態を継続します。

暖房運転の場合



冷房・ドライ運転の場合



3. 取り扱い上 のご注意

- 1) 日常のお手入れ・・・・・・・・・・ 25
- 2) 上手な使いかた・・・・・・・・・・ 32
- 3) 空気清浄フィルターの交換・取付・・・・・・・・ 33
- 4) 応急運転・・・・・・・・・・ 39
- 5) 故障の原因になる取り扱い・・・・・・・・ 40
- 6) 故障かな？と思ったときは・・・・・・・・ 41
- 7) 分岐ユニット使用時の運転のしかた・・・・・・・・ 42
- 8) こんなときはご連絡ください・・・・・・・・ 44
- 9) アフターサービスと保証・・・・・・・・ 45
- 10) メンテナンス・・・・・・・・・・ 46
- 11) 工事／移設・・・・・・・・・・ 48

1) 日常のお手入れ

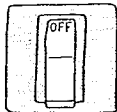
エアフィルターのお手入れおよび前面パネル・吸込グリルの水洗いについて

⚠ 注意

室内機のエアフィルター清掃など、お手入れの時は必ず電源を切ってください。

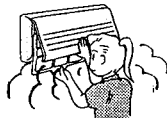


・清掃中誤って回転部に触れ巻き込まれたり、電源部に触れたりすると、感電やケガの原因になることがあります。



室内機のエアフィルターを取りはずすときは目にほこりが入らないように注意してください。

また、踏み台に乗って行う時は、転倒しないようにしてください。



清掃のしかた

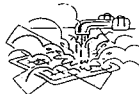
●軽くはたくが電気掃除機で清掃してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をとかしたぬるま湯でやさしく洗い、その後洗剤をよく洗い落としてください。洗った後は乾燥させてから元どおりに取り付けてください。



注意

■エアフィルターを直接日光に当てたり、火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。

・熱い湯(50℃以上)で洗うと変形することがあります。



●各室内機には吸込空気のごみを取るためのエアフィルターがあります。図を参照して、エアフィルターを清掃してください。(エアフィルターは通常2週間に1回清掃してください。)

前面パネル・吸込グリルの洗いかた

- スポンジなど、やわらかいもので水洗いしてください。(タワシのようなかたいものは、前面パネル・吸込グリルに傷がつくことがあります。)
- 前面パネル・吸込グリルを強く押しつけて洗わないでください。(前面パネル・吸込グリルに傷がつくことがあります。)
- 汚れがひどい時は、薄めた台所用洗剤(中性洗剤)を使い、よく洗い流してください。(中性洗剤以外は使わないでください。)
- 直射日光のあたるところで乾燥しないでください。(変色・変形の原因となります。)

注意

■水洗い後は、水気を十分ふきとって陰干しする。

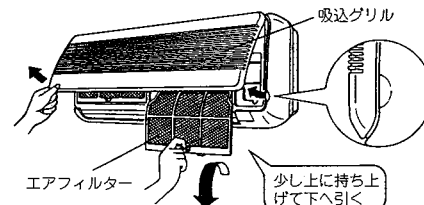
・水気が残っていると、感電の原因になることがあります。

●前面パネル・吸込グリルを水洗いするときは、必ず本体よりはずして洗ってください。

<壁掛形>

エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

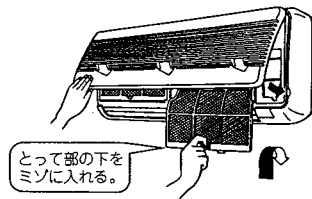
- 1 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出します。吸込グリルの両端を持って吸込グリルを手前に引き上げてから、エアフィルターをはずします。



- 2 掃除機をかけてから水洗いをします。水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

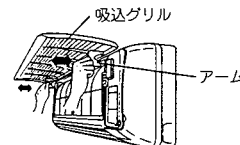


- 3 前面と表示してあるほうを手前にしてエアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。吸込グリルの両端を持って吸込グリルを閉じてから、矢印部分(①)を押して吸込グリルを固定します。



吸込グリルの取りはずし・取り付けかた

●吸込グリルを全開にした状態で、両手でアームを持って手前に引くと取りはずせます。取り付けは、吸込グリルをほぼ水平にして、アームの軸を本体のくぼみに突き当たるまで押し込み、はめ込みます。



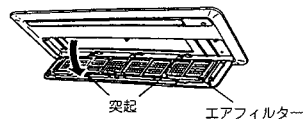
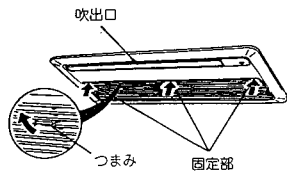
1) 日常のお手入れ

<天井カセット形>

ロングライフフィルターの掃除 (約2ヵ月に1回がめやす)

- 1** 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出します。
吸込グリルの固定部を3ヶ所押します。
ラッチが外れて、吸込グリルが開きます。
〔「押す」のラベルが貼ってあります。〕

エアフィルターの下部を押し上げ、はめ込んだ突起(2ヶ所)から外します。
吸込グリルからエアフィルターを手前に引き出します。



- 2** 掃除機をかけてから水洗いをします。
水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。



- 3** エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。
エアフィルターを吸込グリルにはめ込み、吸込グリルを閉じます。

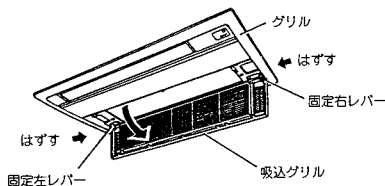
吸込グリルの取りはずし・取り付けかた

(1) 取りはずしかた

- 吸込グリルを開きます。
- 吸込グリルの左または右の固定レバーを動かして、吸込グリルが落ちないように片手で支持し吸込グリルをはずします。

(2) 取り付けかた

- 取りはずしかたの逆の手順で行ってください。

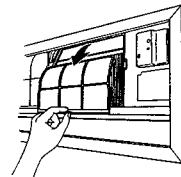


踏み台などをご使用になるときは、転倒の可能性がありますので、ご注意ください。

<壁埋込形>

エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

- 1** 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出します。



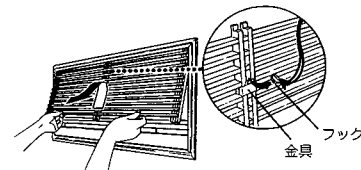
- 2** 掃除機をかけてから水洗いをします。
水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。



- 3** 〔前面〕と表示してあるほうを手前にしてエアフィルターを取り付け、吸込グリルを取り付ける。

吸込グリルの取りはずし・取り付けかた

- 吸込グリルを前面グリルから取りはずします。
吸込グリルは「けんどん式」になっています。
吸込グリルの両端を持ち、上にスライドして下部を手前に引きはずします。
- 吸込グリルを取り付けます。
取りはずしとは逆の方法で、吸込グリルを取り付けます。
- 吸込グリルの裏側にある金具に、室内機にぶら下がっているフックを取り付けてください。
(4.0kWは2ヶ所)



ご注意

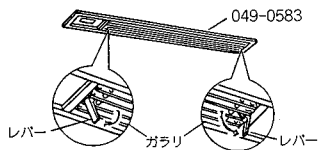
吸込グリルを取りはずし・取り付けの際、室内機の本体操作部に吸込グリルが当たらないように注意してください。

1) 日常のお手入れ

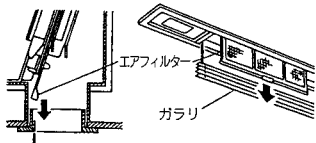
<隠ぺい形>

エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

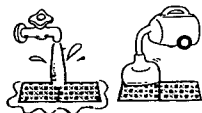
- 1 吸込グリルの左右のレバーを引きながらガラリをはずします。ガラリが下に下がります。



- 2 エアフィルターを下に引いてははずします。



- 3 掃除します。

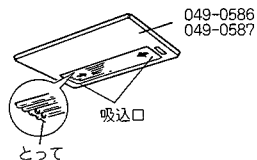


・ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。
水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。

- 4 エアフィルターをもとのようにはめ込みます。
ガラリの左右のレバーを引きながらガラリを取り付けます。

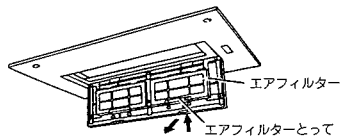
エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

- 1 吸込口のとつてを内側に押すと吸込口が下に開きます。

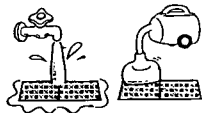


(図は049-0587の例)

- 2 エアフィルターのとつてを持ち上げて手前に引くと、エアフィルターがはずれます。



- 3 掃除します。



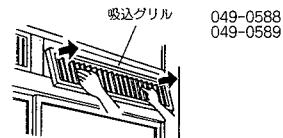
・ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。
水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。

- 4 エアフィルターを吸込グリルに取り付けます。
吸込口を上に向けて、とつてを外側に押して固定します。

<隠ぺい形>

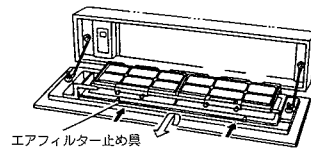
エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

- 1 吸込グリルをはずします。

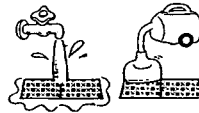


(図は049-0588の例)

- 2 エアフィルター止め具からエアフィルターを取りはずします。

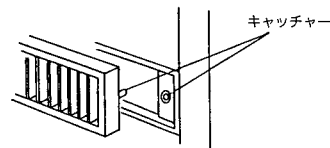


- 3 掃除します。



・ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。
水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。

- 4 エアフィルターを吸込グリルにもとのようにはめてから、取付枠と吸込グリルをキャッチャーで結合します。



1) 日常のお手入れ

お手入れ

リモコンおよび本体の清掃のしかた

- やわらかい布でからぶきしてください。
- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用などは洗たく用）を使用してください。



注意

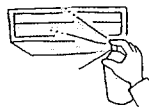
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などは製品をいためますので、絶対使用しないでください。



注意

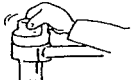
可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。

- ・発火の原因になることがあります。

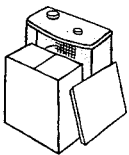


シーズン前

- エアコンを運転する前にガスの元栓を開けてください。



- 室内機、室外機の吸出口や吸込口をふさいでいないかを確認してください。
- 冷房、暖房の能力低下や故障の原因になります。



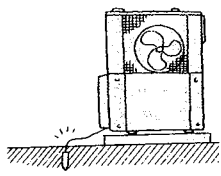
- 長時間停止から運転するときは、6時間前に必ず電源を「入」にしてください。
- ・圧縮機などエアコンの始動を円滑にするため電源を入れてください。守っていただきますと圧縮機などの故障の原因になります。



- フィルターは必ず装着して運転してください。
- ・はずしたまま運転しますと機械が汚れ故障の原因となります。

注意

室外機のアース線がはずれていないか確認してください。



シーズン前

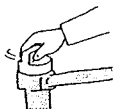
- フィルターおよび各部のお手入れをしてください。



- 長時間使わないときは（シーズン後）エアコンの電源を切ってください。
- ・エアコンを使用しないときでもトランスや、圧縮機の保護ヒータが電力を消費しています。

- シーズンオフなど、長時間使わないとき「切」にしておくと電力を消費しませんので経済的です。

- 長時間使わないときは（シーズン後）安全のためにガスの元栓を閉じてください。
- ・開けたままですとガス漏れの原因になることがあります。

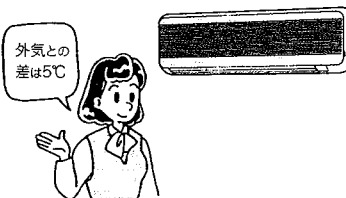


2) 上手な使いかた

ほんのわずかな心がけて、冷房暖房効果、維持費などの点で一層効果的に使うことができます。

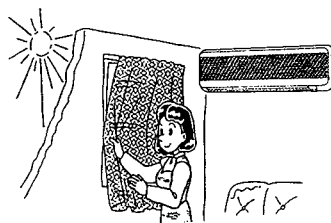
室内温度は適温に

- 冷房運転では、室内と室外の温度差は約5℃以内が適温です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。ガスや電気のムダ使いにもなります。



冷房時の外気熱の影響を少なく

- 冷房時、直射日光の当たる窓にはカーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- また、出入口は必要とき以外は開けないようにしてください。



エアフィルターの清掃はこまめに

エアフィルターの清掃のしかた

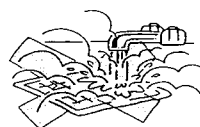
エアフィルターの目づまりは風の流れを少なくし、冷房・暖房効果を弱めます。さらに、そのまま放置しますと故障の原因になります。特に冷房・暖房シーズンの始めには清掃してください。通常は2週間に1回の清掃をお願いします。（特にほごりの多い場合はこまめに清掃してください。）

- 軽くはたくが電気掃除機で清掃してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をたかしたぬるま湯が水でゆすぎ洗いし、その後洗剤をよく洗い流してください。
- 洗った後は乾燥させてから元どりに取り付けてください。



注意

- エアフィルターを直射日光に当てたり火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。
- 熱い湯（50℃以上）で洗うと変形することがあります。エアフィルターの脱着は26～30ページを参照してください。



定期点検をお忘れなく

ガスヒートポンプエアコンにはエンジンを搭載しています。同じようにエンジンを搭載している自動車に法定点検や車検があるようにガスヒートポンプエアコンにも、その性能を維持しお客様に長く快適に使用していただくため、定期点検が必要です。お客様の責任と費用で定期点検をお受けください。

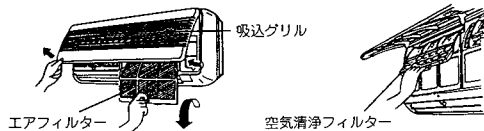
定期点検の時期は、運転積算時間6000時間5年毎に行います。お客様の使用時間が長い場合には、5年に2回以上の定期点検が必要となることがあります。詳細につきましては46・47ページ、メンテナンスの項目を参照してください。

3) 空気清浄フィルターの交換・取付

<壁掛形>

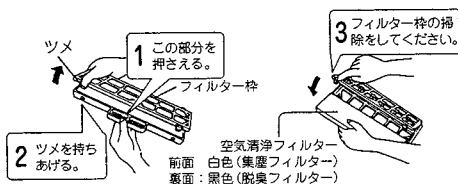
空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

- 1 吸込グリルを開けてエアフィルターと空気清浄フィルターを取り出します。

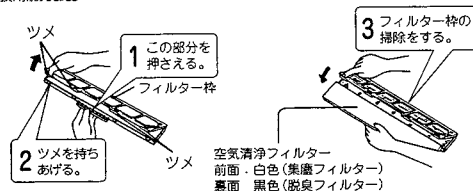


- 2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出し、新しい空気清浄フィルターと交換します。フィルター枠は捨てないでください。

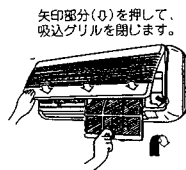
2.2kW～3.2kW (交換用別売部品：048-0673)



4.0kW (交換用別売部品：048-0693)



- 3 空気清浄フィルター・エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。

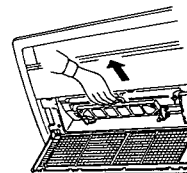


空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店でご購入ください。

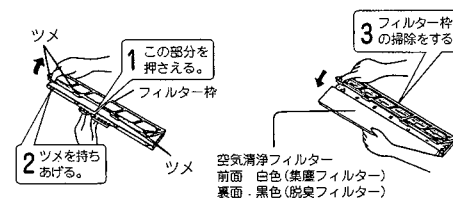
<天井カセット形>

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

- 1 吸込グリルを開けて空気清浄フィルターを取り出します。



- 2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出し、新しい空気清浄フィルターと交換します。フィルター枠は捨てないでください。



- 3 空気清浄フィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。

空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店でご購入ください。

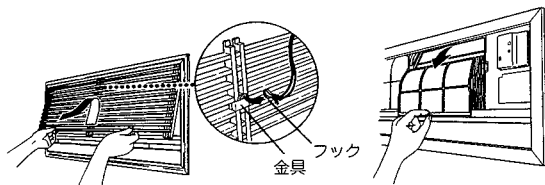
3) 空気清浄フィルターの交換・取付

<壁埋込形>

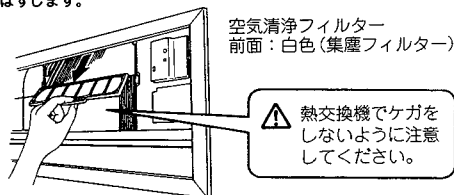
空気清浄フィルターの取り付けおよび交換（6ヶ月ごとがめやす）

- 1 吸込グリルを前面グリルから取りはずします。
吸込グリルは「けんどん式」になっています。吸込グリルの両端を持ち上にスライドして下部を手前に引きはずします。

- 2 エアフィルターを取りはずします。

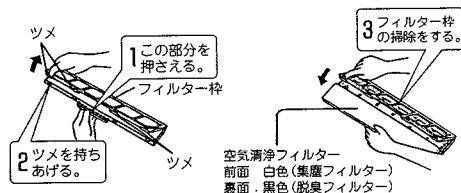


- 3 空気清浄フィルターを取りはずします。



- 4 空気清浄フィルターを交換する場合は、フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出し、新しい空気清浄フィルターと交換します。

（交換用別売部品：048-0693（2.8、3.2kW）
048-0666（4.0kW））



- 5 空気清浄フィルターを取り付けた後、エアフィルターを取り付け、吸込グリルを取り付けます。

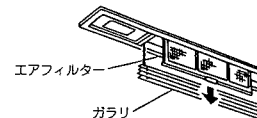
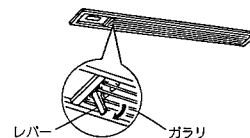
空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店でご購入ください。

<隠ぺい形>

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

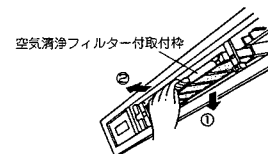
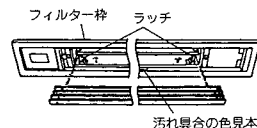
- 1 吸込グリルの左右のレバーを引きながらガラリをはずします。ガラリが下に下がります。

エアフィルターははずします。



- 2 矢印方向にラッチをはずして、フィルター枠を倒します。

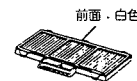
下方向に押しながら、引き抜きます。



- 3 空気清浄フィルター枠をはずします。

フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出します。新しい空気清浄フィルターをセットします。

空気清浄フィルターの白色面を上にして取り付けます。



- 4 空気清浄フィルター枠をもとのようにはめ込みます。エアフィルターをもとのようにさし込みます。レバーを引きながらガラリを取り付けます。

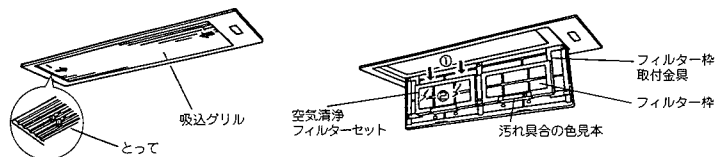
空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店でご購入ください。

3) 空気清浄フィルターの交換・取付

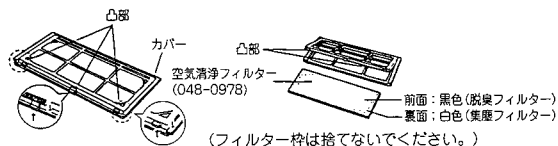
<隠ぺい形>

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

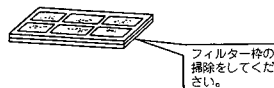
- 1** 吸込グリルのとってを内側に押すと吸込グリルが下に開きます。
 フィルター枠取付金具から、①矢印の方向に押しながら、
 ②フィルター枠を手前に引いてはずします。



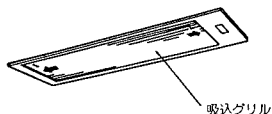
- 2** フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出します。
 ①凸部を持ち上げてフィルター枠を開きます。
 ②空気清浄フィルターを取り出します。



- 3** 新しい空気清浄フィルターをセットします。
 空気清浄フィルターの黒色面を手前にして、フィルター枠に取り付けます。



- 4** フィルター枠をフィルター枠取付金具に取り付けます。
 吸込グリルを開めてとってを外側に押します。

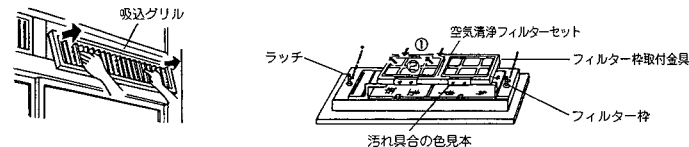


空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店でご購入ください。

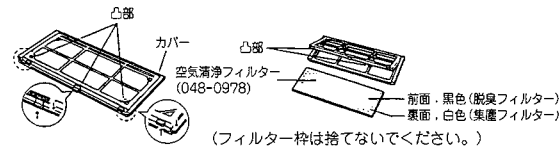
<隠ぺい形>

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

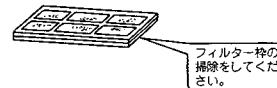
- 1** 吸込グリルをはずします。
 フィルター枠をはずします。①矢印の方向に押しながら
 ②フィルター枠を手前に引いてはずします。



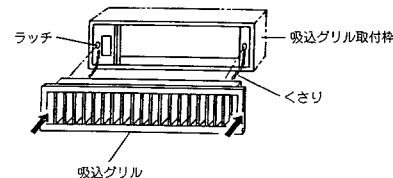
- 2** フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出します。
 ①凸部を持ち上げてフィルター枠を開きます。
 ②空気清浄フィルターを取り出します。



- 3** 新しい空気清浄フィルターをセットします。
 空気清浄フィルターの黒色面を手前にして、フィルター枠に取り付けます。



- 4** フィルター枠をフィルター枠取付金具に取り付けます。
 左右のラッチを合わせて、吸込グリルを吸込グリル取付枠に差し込みます。



空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店でご購入ください。

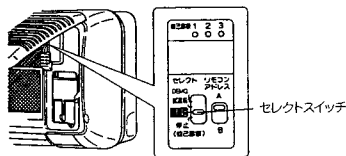
4) 応急運転

リモコンの電池がなくなったり、リモコンを紛失したときに、次の順序で応急的な運転ができます。

<壁掛形>

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「停止」の位置にしてから、「運転」の位置に戻してください。



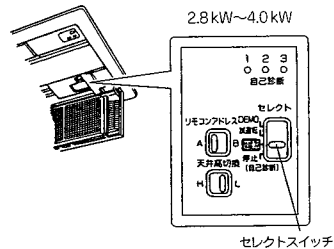
停止したいとき

セレクトスイッチを「停止」の位置にしてください。

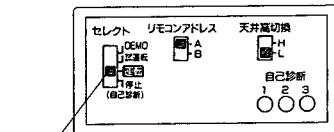
<天井カセット形>

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「停止」の位置にしてから、「運転」の位置に戻してください。



5.0kW



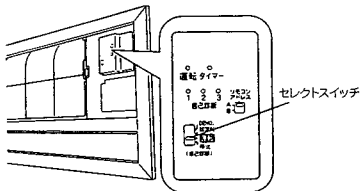
停止したいとき

セレクトスイッチを「停止」の位置にしてください。

<壁埋込形>

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「停止」の位置にしてから、「運転」の位置に戻してください。



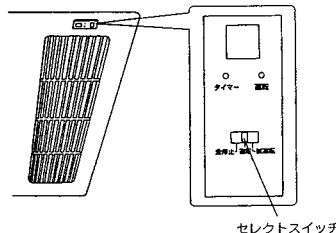
停止したいとき

セレクトスイッチを「停止」の位置にしてください。

<隠ぺい形>

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「全停止」の位置にしてから、「運転」の位置に戻してください。



停止したいとき

セレクトスイッチを「全停止」の位置にしてください。

応急運転にする

●運転の種類は自動運転になります。

☞ 17ページ

5) 故障の原因になる取り扱い

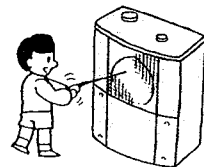
次のような取り扱いは故障の原因になります。

⚠ 警告

室外機の吹出口や吸込口に指や棒などの異物を入れないでください。

・ファンなどの回転物に触れると、ファンや棒などが飛散し、ケガや故障の原因になります。

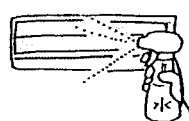
特にお子さまにご注意ください。



⚠ 注意

室内機には洗剤スプレーや水をかけないでください。

・洗剤スプレーや水をかけて清掃すると故障や、電気ショートによる感電、火災の原因になることがあります。

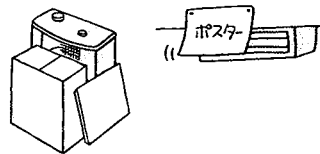


エアフィルターをはずして運転しないでください。

・はずして運転しますと、ほこりが熱交換器やファンに付着し能力不足や故障の原因になることがあります。

室内、室外機の吸込口や吹出口をふさがないでください。

・能力が低下したり、故障の原因になることがあります。



元電源でブレーカをON/OFFしないでください。

・エアコン運転中に電源を切りますと故障の原因になることがあります。

長時間停止してから運転を再開するときは、6時間前に電源を必ず「入」にしてください。

・守っていただきませんと故障の原因になります。



扉、窓を開放したままエアコンを使用しないでください。

・エアコンの吹出部などに水滴が付いたり、家財などをぬらす原因になることがあります。

6) 故障かな？と思ったときは

機械の状態	原因	処置
運転しない。	停電。	停電解除後、運転/停止ボタンを押す。
	元電源が入っていない。	元電源を入れる。
	元電源のヒューズが切れている。	ヒューズの交換。
	漏電ブレーカがきかれている。	漏電ブレーカを入れる。
	まちがったタイマーセットをしている。	正しいタイマーセットを行う。
	リモコンの電池の＋が逆になっている。	電池を正しく入れ直す。
風は出るがよく冷えない、またはよく暖まらない	同時運転容量オーバー。	同時運転台数を確認してください。最大冷房4台、暖房5台まで運転可能です。
	温度調節が適正でない。	液晶表示の設定温度を確認の上、18ページの「室温調節」を参照して室温調節ボタンを操作する。
	エアフィルターにホコリやごみがつまっている。	エアフィルターを清掃してください。26～30ページ「フィルターのお手入れ」を参照。
	室内機、室外機の吹出口、吸込口に障害物がある。	取りのぞく。
冷風あるいは暖風が出ない。	窓、ドアが開いている。	閉じる。
	再起動防止回路が作動している。	圧縮機保護のため、再起動防止回路が室外機に内蔵されていますので、圧縮機がすぐ運転しない場合があります。しばらくお待ちください。最長約3分間は運転しない場合があります。
運転を開始しても暖風が出ない。	複数の室内機の内、一方で冷房、一方で暖房を同時に指令している。	運転切換スイッチを冷房または暖房のどちらかに統一してください。
	室内機の熱交換器がまだ暖まっていない。	室内機の運転ランプ(赤)が点滅(点灯)しますが、暖まれば暖風が出ます。そのまましばらくお待ちください。
運転してもすぐ停止する。	室内機、室外機の吹出口、吸込口に障害物がある。	取りのぞいてから再運転する。
	エアフィルターにホコリやごみがつまっている。	エアフィルターを清掃してください。26～30ページ「フィルターのお手入れ」を参照。

以上のことをお調べになっても、なお不具合の時は、エアコンの運転を中止してガスの元栓を閉じて、お買上げ販売店に製品名、不具合の状況を連絡してください。ご自分の修理は、絶対に行しないでください。また、室内機の表示ランプおよびブザーで異常をお知らせして運転を停止する保護機能については44ページを参照してください。

次の場合は故障ではありません。

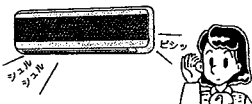
ニオイがする

- エアコンから吹き出す風におうことがあります。これはお部屋の空気中に含まれた煙草のけむり、化粧品、壁や家具などのにおいがエアコンに付着し吹き出されるためです。これは機器の異常ではありません。



音がする

- 運転中や停止時に、「シュルシュル」などと音がすることがあります。これはエアコンの内部の潤滑油が流れる音です。問題はありません。
- 冷・暖房運転の開始後と停止後に、「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化で前パネルなどが膨張・収縮してこする音ですので、問題ありません。



7) 分岐ユニット使用時の運転のしかた

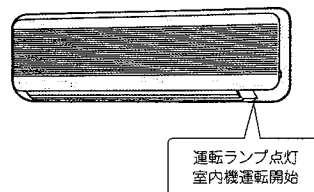
オプションの分岐ユニット(148-0055)をご使用の方は、お読みください。

室内機の運転のしかた

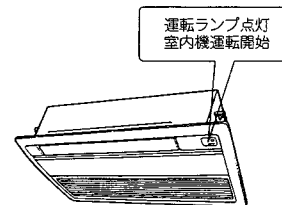
- 運転する室内機リモコンの運転ボタンを押すと、運転を開始します。
- リモコンを押したタイミングによりリモコン操作を受け付けない場合があります。その場合は、リモコン操作を繰り返してください。約10秒後にはリモコン操作を受け付けます。
- リモコンONにより同時運転可能室内機容量を超えた場合、室内機は待機状態となります。室内機の運転ランプが点灯し赤・橙・緑と2秒ごとに変色してお知らせします。

■運転可能

<壁掛形>

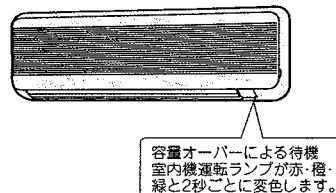


<天井カセット形>

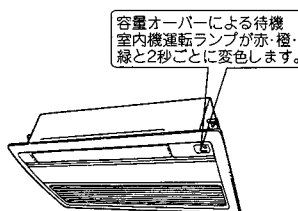


■容量オーバー待機

<壁掛形>



<天井カセット形>



要 点 室内機の待機について

- 運転容量を超えた場合、リモコンを押した順番で待機状態となります。
- 運転している室内機のいずれかがリモコンスイッチをOFFした時点で、容量以内であれば待機優先順に室内機を運転します。

室内機容量合計・冷房 12kWまで(最大4台) 暖房 14kWまで(最大5台)

例 冷房の場合
2.8kW+3.2kW+2.8kW+3.2kW=12kW

例 暖房の場合
2.2kW+2.8kW+2.2kW+2.8kW+4.0kW=14kW

7) 分岐ユニット使用時の運転のしかた

オプションの分岐ユニット(148-0055)をご使用の方は、お読みください。

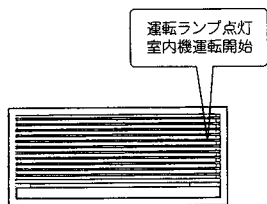
室内機の運転のしかた

- 運転する室内機リモコンの運転ボタンを押すと、運転を開始します。
- リモコンを押したタイミングによりリモコン操作を受け付けない場合があります。その場合は、リモコン操作を繰り返してください。約10秒後にはリモコン操作を受け付けます。
- リモコンONにより同時運転可能室内機容量を超えた場合、室内機は待機状態となります。

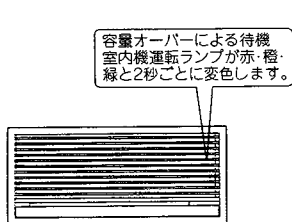
室内機の運転ランプが点灯し赤・橙・緑と2秒ごとに变色してお知らせします。

■運転可能

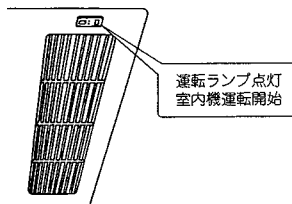
<壁埋込形>



<壁埋込形>

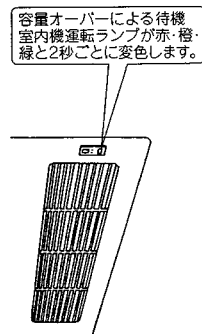


<隠ぺい形>



■容量オーバー待機

<隠ぺい形>



要 点 室内機の待機について

- 運転容量を超えた場合、リモコンを押した順番で待機状態となります。
- 運転している室内機のいずれかがリモコンスイッチをOFFした時点で、容量以内であれば待機優先に室内機を運転します。

室内機容量合計 冷房 12kWまで(最大4台) 暖房 14kWまで(最大5台)

例: 冷房の場合
2.8kW+3.2kW+2.8kW+3.2kW=12kW

例: 暖房の場合
2.2kW+2.8kW+2.2kW+2.8kW+4.0kW=14kW

8) こんなときはご連絡ください

保護機能

- 次のような場合は、保護装置が働き、エアコンは自動停止するとともに、運転室内機の表示ランプで異常の内容をお知らせします。ただし異モード待機及び、容量オーバー待機、応急運転時、メンテお知らせ時のみはランプ表示をするだけでエアコンは停止しません。

※異モード待機とは、次のようなときです。

- ①他の室内で暖房運転をしているとき、冷房・ドライ運転をしようとしたとき。
- ②他の室内で冷房・ドライ運転をしているとき、暖房運転をしようとしたとき。

※容量オーバー待機とは、次のようなときです。

- ①冷房時、室内機容量が12kWを超える条件でリモコンONしたとき。
- ②暖房時、室内機容量が14kWを超える条件でリモコンONしたとき。

故障ではありませんので他の室内の運転モードをご確認ください。

- 保護装置が作動した時は、ガスの元栓を閉めて、お買求めの販売店にご連絡ください。

室内機LEDの表示と異常内容

異常内容	運転LED	タイマLED	備 考
異常	点滅(0.5/0.5)		室内 室外異常とも
ドレン異常		点滅(3.0/3.0)	(※1)
他号機ドレン異常	点灯	点滅(3.0/3.0)	運転継続 (※1)
オイル警報・応急運転	点灯	点滅(0.5/0.5)	運転継続
強制運転	点滅(0.5/0.5)	点滅(0.5/0.5)	(※2)
容量オーバーによる待機	点灯(赤・橙・緑)		2秒ごとに变色(※3)
異モードによる待機	点灯(緑・橙)		2秒ごとに变色(※4)
	点灯(赤・橙)		2秒ごとに变色(※5)

()内はON秒数/OFF秒数を示します。

- (※1) 室内ドレン異常が発生した場合、ドレン異常が発生した室内機は異常停止します。運転しているその他の室内機は運転を継続させます。
- (※2) 室外機での自動試運転 室外からの強制除霜・室内機での試運転・マニュアル運転(モニター使用時)に表示します。
- (※3) 故障ではありません。運転台数容量オーバーです。他の部屋で停止(リモコンOFF)すれば、待機の順番に運転を開始します。
- (※4) 故障ではありません。運転モードの不一致です。運転している全室内機を停止するか、暖房モードを選択すれば運転を開始します。
- (※5) 故障ではありません。運転モードの不一致です。運転している全室内機を停止するか、冷房・ドライモードを選択すれば運転を開始します。

9) アフターサービスと保証

修理を依頼するとき

- お買上げの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際、下記の事項をハッキリお示しください。

- (1) 品 名 ガスヒートポンプハウジングマルチ
- (2) 形 番 左側に貼付してあります。
(例) (N) 145-1001の場合。

(N)145-1001

大阪ガス株式会社

- (3) 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
- (4) ご住所 お名前 電話番号・道順
- (5) 訪問ご希望日



保証書・保証期間について

この機器には保証書がついています。
当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に応じることをお約束します。(詳細は保証書をご覧ください)
保証書を紛失されたと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。
●性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

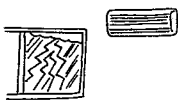
廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集 運搬料金と再商品化料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

知っておください

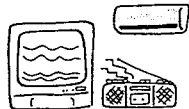
雷や、無線などのノイズによりエアコンが誤作動したり、停止することがあります。

- このような場合はお買い求めの販売店にご相談ください。



室外機を運転することによりテレビ画面のみだれや、ラジオにノイズが入ることがあります。

- このようなときはアンテナを室外機より離してください。



停電後は、通常のリモコン操作をして運転を再開してください。

- 電源が切れますと、「再起動防止回路」が働き電源が入っても約3分間は運転しません。



10) メンテナンス

定期点検

エアコンの性能を維持し、お客様が安全により長く快適にお使いいただくために専門のサービスマンによる定期点検が必要です。

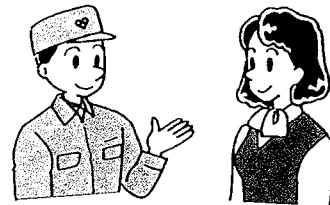
定期点検は、運転積算時間6000時間もしくは5年毎*に行ってください。
定期的な部品交換が中心となる項目で、必ず実施していただかなければならない内容です。
運転時間毎、期間毎、确实に行いませんと、性能を維持できなったり、運転停止の原因になります。

*お客様の使用時間によって、運転積算時間6000時間または5年のどちらが早く到達した時期となります。使用頻度に応じて5年に2回以上の定期点検が必要になる場合があります。

保守契約のお勧め

保守契約はガスヒートポンプエアコンの定期点検に関してあらかじめお任せいただくシステムです。保守契約を継続して契約していただくと、毎年1回専門のサービスマンがお伺いして、システムの稼働状況を確認するとともに、運転積算時間6000時間または5年毎に必要な定期点検・部品交換を実施します。また、契約期間中の故障修理に必要な部品や技術料、出張費も無料となります。

お気軽にお買い求めの販売店にご連絡ください。



10) メンテナンス

定期点検項目・時期

		定期交換・補充項目	定期交換・補充時期	備 考
原動機	本 体	1 スパークプラグの交換	6000時間毎	
		2 エアエレメント1の交換	6000時間毎	
		3 エアエレメント2の交換	6000時間毎	
	潤 滑	4 エンジンオイルの交換	6000時間毎	
		5 オイルフィルタの交換	6000時間毎	
	排 気	6 ドレンフィルタの充填石の補充	6000時間毎	
圧 縮 機		7 コンプレッサベルトの交換	6000時間毎	
原動機・熱交換器		8 冷却水の交換	12000時間毎 ※1	

※ 定期点検は、運転時間が指定の6000時間に満たなくとも5年で実施します。

※1、2回目より、6000時間毎とします。

		定期交換・調整項目		点検時期	備 考
				6000時間毎	
原動機	本 体	1	エンジンのかかり具合 調速 異音	○	
		2	バルブクリアランスの点検 調整 ヘッドカバーガasketの亀裂・硬化	○	
		3	エンジンオイルの漏れ 量	○	
	燃 料	4	燃料ガスの漏れ・ホースの取付・亀裂	○	
	冷却水	5	エンジン冷却水の漏れ	○	
	排 気	6	ドレン水の排水状態	○	
冷媒・圧縮機	7	コンプレッサの振動 異音・オイルの漏れ	○		
	8	コンプレッサベルトのたわみ量および亀裂	○		
	9	冷媒の漏れ	○		
熱交換器	10	室外熱交換器のフィン詰まり	○		
	11	システムの冷却水の漏れ 量	○		
電気装置	12	ハーネスの取付・亀裂・硬化・回転部への接触	○		
総 合	13	室外ユニット外観の汚れ・異音 異常振動	○		
	14	システムの能力確認	○		

※ 点検後、交換が必要と判断する部品は有償となります。

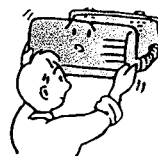
11) 工事／移設



警告

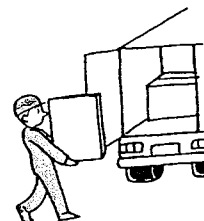
据え付けはお客様自身で行わないでください。

- ・専門の業者に依頼してください。据え付けに不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や水漏れ、感電、火災等の原因になります。



増改築、引っ越しなどでエアコンを移設するときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- ・据え付けに不備があると排気ガスの建物内流入による中毒や水漏れ、感電、火災等の原因になります。



据え付け場所について

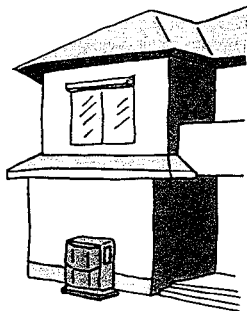
- 次のような場所に据え付けるのは避けてください。

- 機械油の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 湿気や油煙の多いところ
- 温泉地帯
- 硫化ガスのあるところ
- 高周波加工機（高周波ウエルダーなど）のあるところ
- 酸性の溶液を頻繁に使用するところ

上記のようなエアコンの周囲雰囲気有特殊な場所で使用しますと、故障の原因になります。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮ください

- 屋上や架台に据え付ける場合は質量に充分耐え、騒音や振動が増大しないようにしてください。
- 室外機の吹き出す騒音や温風が隣家の迷惑にならない場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口近くに建物や障害物のない場所をお選びください。



廃棄するときには

室外機・室内機を廃棄する場合は、お買い求めになった販売店にご相談ください。